

全国英語教育学会（JASELE）2021年度第2回理事会議事録

■日 時：2021年8月6日（金）13:30～16:00

■会 場：Zoomによるオンライン開催

■参加者：

深澤清治（会長），里井久輝（副会長，会長代行），齊田智里（副会長，理事・関甲信），久保田佳克（副会長，理事・東北），中村香恵子（理事・北海道），志村昭暢（理事，幹事・北海道），佐藤博晴（理事・東北），高田智子（理事・関甲信），酒井英樹（理事・中部，長野研究大会実行委員長），田中武夫（理事・中部，長野研究大会副実行委員長），泉恵美子（理事・関西），高橋俊章（理事・中国），猫田英伸（理事・中国，紀要編集事務局長，財務部部長），齋藤嘉則（理事・四国），柳井智彦（理事・九州），麻生雄治（理事／幹事・九州）

<以下，オブザーバー>

宮迫靖静（紀要編集委員長，研究/大会企画部），笠原究（紀要編集副委員長），竹野純一郎（紀要編集事務局補佐），濱田彰（幹事・関甲信，広報/通信部），滝沢雄一（幹事・中部），橋本健一（幹事・関西），猫田和明（幹事・中国），水野康一（幹事・四国），若有保彦（会計監査），大森誠（会計監査），古家貴雄（長野研究大会副実行委員長），和田順一（長野研究大会事務局長），鬼田崇作（事務局長），山内優佳（事務局長補佐），篠村恭子（財務部副部長），大下晴美（財務部副部長），杉浦理恵（研究/大会企画部副部長），森好紳（学生支援部部長）

・議題の審議に先立ち，深澤会長からのあいさつが行われた。

■議題：

（1）事務局から総会に提起する議題について

鬼田事務局長より，資料1に基づき8月7日（土）に開催される第46回総会で諮られる議案について説明があった。2020年度の総会が新型コロナウイルスの影響により延期になったことをうけ，総会の議題が2年分になっていることが確認され，審議の結果原案通り承認された。

1) 会長選挙結果報告

鬼田事務局長より，資料1-1に基づき，会長候補者選考投票の経緯について説明があった。

2) 2020年度，2021年度役員

鬼田事務局長より，資料1-2に基づき，総会においては会長・副会長に変更があったこと，伊東前会長が2021年度から顧問に就任したことが確認された。

3) 2019年度，2020年度会務報告

鬼田事務局長より、資料 1-3 に基づき、2 年間の会務報告が確認され、審議の結果一部修正のうえ承認された。

4) 2019 年度、2020 年度会計報告

猫田英伸財務部長より、資料 1-4 に基づき会計報告があり、審議の結果原案通り承認された。

5) 2019 年度、2020 年度会計監査報告

若有会計監査（2020 年度）より、資料 1-4 に基づき会計報告があり、審議の結果原案通り承認された。

6) 2020 年度、2021 年度事業計画

鬼田事務局長より、資料 1-5 に基づき説明があった。2020 年度の事業計画については事後報告となっている点について確認され、審議の結果一部修正のうえ承認された。

7) 2020 年度、2021 年度予算案

猫田英伸財務部長より、資料 1-6 に基づき予算案が説明され、審議の結果原案通り承認された。

8) その他

(2) 第 47 回北海道研究大会及びシンポジウム、ワークショップについて

北海道研究大会について、資料 2 に基づき志村大会事務局長と笠原大会実行委員長より、2022 年 8 月 6 日・7 日に、北海道科学大学を本部とするオンライン開催が計画されていることが説明され、審議の結果一部修正のうえ承認された。

シンポジウム及びワークショップについて、杉浦研究/大会企画部副部長より、資料 2 に基づきシンポジウム及びワークショップについて原案が示された。研究/大会企画部で計画を進め、大会実行委員会に提案されることとなった。

(3) 紀要編集委員会からの提案について

宮迫紀要編集長より、資料 3 に基づき執筆要項等について説明があった。引用文献欄の形式が APA 第 7 版に準拠したものになった点が主な変更である。英語版執筆要項について、校正業者を利用することと今後の計画が説明され、審議の結果原案通り承認された。

(4) 学会 50 周年記念事業について

深澤会長より、資料 4 に基づき出版の計画、検討事項について説明がされた。審議の結果、沿革史と 50 周年記念書籍を作成する方向性について種々意見が出され、WG(資料 4) で継続検討されることが承認された。

(5) その他

特になし

■報告事項：

(1) 第 46 回長野研究大会について

酒井大会実行委員長より、大会実施について、Web サイトに基づき説明された。128 件

の発表，570人の参加申し込みがされている。

(2) 第48回香川研究大会について

大会会場校を代表して水野幹事より，資料5に基づき日程（2023年8月19・20日）と実施形式（可能な限り対面形式，於：香川大学）について説明された。大学生・大学院生フォーラムの時間は原案より長くすることが提案された。

(3) KATE 春季研修会英語教育セミナーおよび「英語教育セミナー」の募集について

濱田幹事（関東甲信越教育学会事務局）より，資料6に基づき英語教育セミナーの実施が報告された。杉浦研究/大会企画部副部長より，2022年度のセミナー募集（2022年1月〆切）について案内があった。なお，7日の学会総会においても事務局より案内がされることが確認された。

(4) 事務局内各部における活動について（経過報告）

資料7-1，7-2，7-3に基づき，財務部（篠村副部長）から賛助会員21社の一覧（減少傾向），広報/通信部（濱田副部長）からNewsletter発行とTwitterによる発信，ホームページの更新状況，学生支援部（森部長）から研究大会のフォーラム（今年度は90分に拡大）と参加助成金制度について報告があった。

(5) その他

特になし